2026 年 11 月 18 日

「家族のエッセイ」受賞作品の決定
～2,800 の応募の中から 36 作品を公開～

生命保険協会（会長：隅野 俊亮　第一生命保険社長、以下「当会」）は、「家族のエッセイ」公募事業（以下「本事業」）の受賞作品を決定しました。

５月 11 日から７月 31 日にかけてご応募いただいた 2,800 もの多種多様な作品の中から、外部有識者等６名の審査委員による厳正な審査を経て、36 作品が受賞作品として選ばれました（詳細は別紙）。

今後、大賞および審査委員賞の計６作品は動画化し、当会 YouTube チャンネルにて 2027 年春に公開予定です。

本事業は、読み手が自分なりの家族像を思い描くヒントや家族との向き合い方に関する新たな視点・気付き等を得られること、さらに家族を温かく見守る社会の雰囲気が醸成されていくことを目指し、こども家庭庁等の後援を受けて、今回初めて実施しました。

折しも 11 月８日（日）から 11 月 21 日（土）は「家族の週間」とされていますが、多くの方が「家族のエッセイ」作品に今後も長く親しまれ、過去から現在そしてこれからの家族に思いを馳せるような機会としていただければ幸いです。

＜受賞作品（一部）＞　※「作品名（ペンネーム・応募時年代）」を表記

〇大賞：１点

父親の椅子（つぼいしさくらこ・20 代）

〇審査委員賞：計５点

全部いただきます（渡辺惠子・60 代）
男２人で何が家族だ（青空なつと・30 代）
私の不謹慎な家族の話（まいごのカニ・30 代）
ボケとツッコミ（ルイ・40 代）
あんただけが、僕のおじいちゃんなのだ。（小堺瑛仁・20 代）

※各受賞作品は、本事業公式サイト（https://koubo.jp/lp/kazoku-essay-result）および当会ホームページ（https://www.seiho.or.jp/data/publication/kazoku-essay/）にて公開しています。

以　上

別紙

＜審査委員＞（敬称略・順不同）

西野理子（にしのみちこ）	東洋大学 教授
山崎ナオコーラ（やまざきなおこーら）	作家
北川悦吏子（きたがわえりこ）	脚本家・映画監督
大原櫻子（おおはらさくらこ）	歌手・俳優
戸塚優斗（とつかゆうと）	スノーボーダー
梅崎輝喜（うめざきてるき）	生命保険協会 代表理事副会長

＜全受賞作品＞ ※「作品名（ペンネーム・応募時年代）」を表記

○大賞：１点【再掲】

父親の椅子（つぼいしさくらこ・20 代）

○審査委員賞：計５点【再掲】

全部いただきます（渡辺惠子・60 代）
男２人で何が家族だ（青空なつと・30 代）
私の不謹慎な家族の話（まいごのカニ・30 代）
ボケとツッコミ（ルイ・40 代）
あんただけが、僕のおじいちゃんなのだ。（小堺瑛仁・20 代）

○佳作：計 10 点

鮭の皮（横山シシファ美麗・10 代）
米握るわれら（新森耀・20 代）
最高のバトンタッチ（明日の翼・30 代）
パパの骨壺（藤井雅子・40 代）
いとし腕（わかな・40 代）
おじいちゃんになれた日（トンちゃん・60 代）
覚えておいてね（建内真由子・40 代）
ままが、ずっといきるために（桃瀬めぐみ・30 代）
母の匂い（松原花・30 代）
「棚からぼた餅」の卒業（平野香菜子・30 代）

○入選：計 20 点

お弁当がつなぐ家族のバトン（かとうけ・50 代）
パートナー（もも・20 代）
宇宙エレベーター（捨拾（すてろう）・50 代）
身元保証（森川耕一・50 代）
家族は他人より遠い（りゅう・40 代）
吠え方を忘れた犬（アマリリス・20 代）
おしゃべりな背中と、聞く手のひら（増田倫子・50 代）
通りすがりの親切な人（時任蓮・50 代）
兄になった日（西山季輝・30 代）
18（米倉朋佳・40 代）
我が家は今宵も営業中（夜明けのクリスマス・40 代）
甘酒（わたなべしずか・30 代）
父親のいない父親（モケモケ・30 代）
広告の裏の献立とあの日の約束（鈴々乃らん・60 代）
塩少々の正解（はしもとひろこ・30 代）
ドタバタ子育て奮闘記（うえっぴー・30 代）
家族だから、辛いこともある（たけこ・30 代）
家族の始まり（りはな・20 代）
ぐうたら娘の役割（たまき・20 代）
ドレッシング（ゆり・30 代）

以　上